

多機能型 支援プログラム（定員10名）

（別添資料1）

事業所名

株式会社ピー・シー・エル 児童発達支援・放課後等デイサービスアイビック市川

作成日

令和6年 8月 1日

法人（事業所）理念		子どもたちひとりひとりに寄り添い、尊重し、共に歩んでいこうと考える事から「全ての出会いを大切にし限りない可能性を追求する」を理念としています。					
支援方針		「自分で決定し、自分らしく生きる」を尊重し、こどもたちの「できる喜び」を共有し、「社会で自立できる力」を支援します。					
営業時間		10 14 時	00 分から	17 時	00 分まで		
		送迎実施の有無		あり なし			
支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	生活領域における支援では、基本的な生活習慣の確立と日常生活スキルの向上を目指す。身辺自立に関する具体的な支援として、着替え、食事、排泄等の基本動作の習得を支援する。また、生活リズムの確立や整理整頓、時間管理などの生活管理スキルの習得も重視する。支援にあたっては、個々の児童の発達段階に応じた具体的な目標設定を行い、段階的な支援を実施する。					
	運動・感覚	運動領域における支援では、粗大運動と微細運動の両面からのアプローチを行う。全身運動や体幹機能の向上、バランス感覚の育成を図るとともに、手先の巧緻性や目と手の協応動作の向上を目指す。運動活動を通じて、身体意識の向上や空間認知能力の発達も促進する。また、運動を通じた社会性の発達支援として、ルールのある遊びや集団での運動活動も取り入れる。					
	認知・行動	認知領域における支援では、注意力、記憶力、思考力などの認知機能の向上を図る。課題解決能力の育成や学習レディネスの形成を重視し、個々の児童の認知特性に応じた支援方法を選択する。視覚的支援や構造化された環境設定を活用し、効果的な学習支援を行う。また、実行機能の向上を目指し、計画立案や実行、振り返りの能力を育成する。					
	言語 コミュニケーション	言語領域における支援では、理解言語と表出言語の両面からの支援を実施する。語彙の拡大や文法理解、会話スキルの向上を図るとともに、非言語コミュニケーションスキルの発達も支援する。個々の児童の言語発達段階に応じて、適切なコミュニケーション手段の選択と活用を支援する。また、語用論的な側面にも着目し、場面や状況に応じた適切な言語使用を支援する。					
	人間関係 社会性	社会性領域における支援では、対人関係スキルや感情理解、社会的ルールの理解と遵守能力の向上を目指す。SSTを中心とした体系的な支援プログラムを実施し、段階的なスキル獲得を支援する。また、集団活動を通じた実践的な社会性スキルの習得機会を提供する。					
家族支援		家族支援では、保護者との密接な連携のもと、家庭における療育の継続性を確保する。定期的な面談や連絡帳を通じて情報共有を行い、支援の方向性や具体的な方法について共通理解を図る。また、保護者に対する心理的支援や育児支援も重視し、保護者のエンパワメントを促進する。保護者研修や交流会なども定期的を実施し、保護者同士のピアサポート体制の構築も支援する。		移行支援		移行支援では、就学や進学、他機関への移行に向けた計画的な支援を実施する。移行先との情報共有や連携を密に行い、スムーズな移行を実現するための準備支援を行う。また、移行後のフォローアップ体制も整備し、継続的な支援を提供する。移行支援においては、本人の特性や支援ニーズについて、移行先との丁寧な引き継ぎを行い、支援の継続性を確保する。	
地域支援・地域連携		地域支援では、地域の関係機関との連携体制を構築し、包括的な支援体制の整備を図る。保育所や幼稚園、学校等との連携を強化し、地域における療育支援の質の向上に貢献する。また、地域の医療機関や福祉機関とのネットワークを構築し、必要に応じて適切な機関への紹介や連携した支援を実施する。地域の支援者に対する研修や助言活動もを行い、地域全体の支援力向上を目指す。		職員の質の向上		定期的な事業所内研修、研修動画にて個別研修、外部後援会・研修会への派遣、定期的な面談	
主な行事等		2月・豆まき 3月・ひな祭り 4月・お花見 5月・子どもの日 6月・親子遠足 7月・水遊び 8月・水遊び 10月・ハロウィン11月・お買い物ピクニック 12月・クリスマス 避難訓練は月に1回、クッキングは定期的に活動に組み込んで行っています。					